

隠岐病院経営改革コンサルティング委託業務に係る質問内容に対する回答書

平成 31 年 4 月 16 日 隠岐病院総務課

質 問 内 容	回 答
<p>(1) 本業務の提案について、1 社で業務提供を行う場合よりも複数社で業務提供を行うことで、より効果的な業務提供が可能と考える場合、複数社で構成するコンソーシアムでの提案を行うことも可能か。</p> <p>(2) コンソーシアムで提案を実施する場合、実施要領と業務仕様書で定める内容は、コンソーシアムとして充足することで問題ないか。</p> <p>(3) 次年度以降に行う計画実行支援業務に係る委託費見積書について、何年度分を提出する必要があるか。</p> <p>(4) ①黒字化できた実績数で指す「黒字化」とは、どの利益段階での黒字化か。 例) ・補助金等の考え方はどのように取扱えばよいか。 ・建替え直後により償却費が大きく赤字になる場合など</p>	<p>今回「隠岐病院経営改革コンサルティング委託業務公募型プロポーザル実施要領」において、参加資格要件は指定していません。提案方式を制限するのではなく、本業務をより効果的に行ってもらうことを目的としております。従って、コンソーシアム方式でも可能です。</p> <p>ただし、コンソーシアムの構成員すべてがそれぞれに参加資格要件を単独で満たすことができること、また、隠岐病院所定様式による業者間におけるコンソーシアム協定書の締結に加えてプロポーザルの際には、コンソーシアム方式での業務実施体制等について詳細な提案を必須とします。</p> <p>コンソーシアム方式において実施要領及び仕様書における業務内容を満たすことができれば問題ありません。</p> <p>当院としては最低でも 2 ヶ年の実行支援を考えていますが、提案者が策定計画の実行に必要と考える期間の見積額を提出してください。</p> <p>「黒字化できた実績数」については、「黒字化」の定義を明確にしておりませんでしたので、次のとおり変更して対応してください。</p> <p>過去 3 ヶ年の業務実績について、当院所定の様式に改善前と改善後の決算数値を記入して提出してください。また、その様式中の特記事項の欄において、取り組み内容</p>

質 問 内 容	回 答
<p>②経営改善により黒字化した実績を記載する項目がございますが、病院運営の他の影響もあるため、正確な効果測定が困難です。同項目につきましては、改善内容等をお伝えするのみでよろしいでしょうか。</p> <p>(5) 国、地方公共団体又は独立行政法人等に、日赤、済生会、医師会などの公的な開設主体も事例の対象範囲に含まれるか。</p> <p>(6) 実績に関する契約書の写し等について、契約書の代替として認められるものとは（契約書の内容を開示できない場合の代替物について）。</p>	<p>とその成果について記述してください(別紙記入例参照)。</p> <p>また、「補助金等の考え方はどのように取扱えばよいか。」については、補助金の実績値を所定の様式に記入していただき、その増減の理由について、特記事項に記述してください。</p> <p>「建替え直後により償却費が大きく赤字になる場合」について、現金を伴わない支出については除外して考えることとします。所定様式の減価償却費の欄には実績値を記入していただきますが、所定様式 33 列の「D 現金過不足額」欄において減価償却費や資産減耗費等現金を伴わない項目については除外して収支計上することとしています。</p> <p>含まれます。</p> <p>原則契約書の写しを提出してください。</p> <p>ただし、契約書の写し以外で契約実績が証明できるもの（完了報告書等）があれば代替として認めることがありますので、提出時に確認してください。</p>